

交付図書の訂正について

令和6年5月7日付けで入札公告を行った「(工事名) 道央自動車道 市来知川橋床版取替工事」に係る交付図書に一部誤りがあったため、別添のとおり訂正します。

なお、当社ホームページ掲載の入札公告についても、同日付で訂正したものに改めておりますので、再度、入札公告をご確認ください。

令和6年10月9日

契約責任者

東日本高速道路株式会社北海道支社

支社長 堀 圭 一

【訂正図書】

・⑩【特記仕様書】道央自動車道 市来知川橋床版取替工事

※訂正箇所は、別添「正誤表」をご確認ください

別 添

正 誤 表

記載内容を次のとおり訂正します。

訂正前				訂正後			
特記仕様書				特記仕様書			
橋梁名	単価表の項目	区分内容	摘要	橋梁名	単価表の項目	区分内容	摘要
市来知川橋	プレキャストPC床版工	プレキャストPC床版（標準版）の工場製作、架設位置までの輸送を行うもの。	箱桁	市来知川橋	プレキャストPC床版工	プレキャストPC床版（標準版）の工場製作、架設位置までの輸送を行うもの。	箱桁
	プレキャストPC床版の製作A1				プレキャストPC床版の製作A1		
	プレキャストPC床版工 プレキャストPC床版の製作A2	プレキャストPC床版（標準版・添接部切欠き付き）の工場製作、架設位置までの輸送を行うもの。			プレキャストPC床版工 プレキャストPC床版の製作A2	プレキャストPC床版（標準版・添接部切欠き付き）の工場製作、架設位置までの輸送を行うもの。	
	プレキャストPC床版工 プレキャストPC床版の製作A3	プレキャストPC床版（調整版・添接部切欠き付き・排水ます付き）の工場製作、架設位置までの輸送を行うもの。			プレキャストPC床版工 プレキャストPC床版の製作A3	プレキャストPC床版（標準版・排水ます付き）の工場製作、架設位置までの輸送を行うもの。	
プレキャストPC床版工 プレキャストPC床版の架設A	プレキャストPC床版の架設、設置、鋼桁との接合等を行うもの。		プレキャストPC床版工 プレキャストPC床版の架設A	プレキャストPC床版の架設、設置、鋼桁との接合等を行うもの。			
<p>2.6-2-3. 材料 「構造物施工管理要領」Ⅲ-4-1-3「材料」、Ⅱ-6-3「材料」の規定によるほか、プレキャストPC床版に用いるコンクリート設計基準強度は、$\sigma_{ck}=50\text{N/mm}^2$とする。</p> <p>2.6-2-4. 製品検査 プレキャストPC床版工に用いる製品については、「構造物施工管理要領」Ⅲ-4-1に規定する試験、検査を実施し、結果を監督員に提出しなければならない。</p> <p>2.6-2-5. 施工</p> <p>(1) 輸送及び運搬 工場製作によるプレキャストPC床版の工場から架設現場までの運搬は、一時的であっても設計計算によって安全と認められる支持状態で支持、輸送及び運搬しなければならない。</p> <p>(2) マーキング 架設に先立ち、設計図書及び監督員の指示に従い全橋長の割り振りをを行い、マーキングを行う。その際、縦断勾配及び平面線形等を考慮して、全体に据付誤差が累積しないように細心の注意を払うものとする。</p> <p>(3) ソールスボンジ プレキャストPC床版と既設主桁上フランジ接合部の無収縮モルタル打設時の流出防止及び高さ調整を行うため、既設主桁上フランジ両端にソールスボンジを貼付けるものとする。</p> <p>(4) 架設 プレキャストPC床版部材の架設重機を使用し、事前に割り振られたマーキングに沿って正確に架設するものとする。その際に架設するプレキャストPC床版部材にあたっては、一時的であっても設計計算によって安全と認められる支持状態で架設しなければならない。また、有害な衝撃や変形等による損傷を与えないよう細心の注意を払うものとする。 なお、クレーン作業関係者及び供用車線の一般車両の安全確保のために、安全に吊荷を安定させて揚重作業を行うものとする。 床版架設は昼間の施工を基本とする。 プレキャストPC床版の架設は「構造物施工管理要領」Ⅲ-4-1-7によるものとする。</p>				<p>2.6-2-3. 材料 「構造物施工管理要領」Ⅲ-4-1-3「材料」、Ⅱ-6-3「材料」の規定によるほか、プレキャストPC床版に用いるコンクリート設計基準強度は、$\sigma_{ck}=50\text{N/mm}^2$とする。</p> <p>2.6-2-4. 製品検査 プレキャストPC床版工に用いる製品については、「構造物施工管理要領」Ⅲ-4-1に規定する試験、検査を実施し、結果を監督員に提出しなければならない。</p> <p>2.6-2-5. 施工</p> <p>(1) 輸送及び運搬 工場製作によるプレキャストPC床版の工場から架設現場までの運搬は、一時的であっても設計計算によって安全と認められる支持状態で支持、輸送及び運搬しなければならない。</p> <p>(2) マーキング 架設に先立ち、設計図書及び監督員の指示に従い全橋長の割り振りをを行い、マーキングを行う。その際、縦断勾配及び平面線形等を考慮して、全体に据付誤差が累積しないように細心の注意を払うものとする。</p> <p>(3) ソールスボンジ プレキャストPC床版と既設主桁上フランジ接合部の無収縮モルタル打設時の流出防止及び高さ調整を行うため、既設主桁上フランジ両端にソールスボンジを貼付けるものとする。</p> <p>(4) 架設 プレキャストPC床版部材の架設重機を使用し、事前に割り振られたマーキングに沿って正確に架設するものとする。その際に架設するプレキャストPC床版部材にあたっては、一時的であっても設計計算によって安全と認められる支持状態で架設しなければならない。また、有害な衝撃や変形等による損傷を与えないよう細心の注意を払うものとする。 なお、クレーン作業関係者及び供用車線の一般車両の安全確保のために、安全に吊荷を安定させて揚重作業を行うものとする。 床版架設は昼間の施工を基本とする。 プレキャストPC床版の架設は「構造物施工管理要領」Ⅲ-4-1-7によるものとする。</p>			
24				24			